

先進的に取り組む 4つの研究科

4つの学類を礎とした人間発達文化研究科、地域政策科学研究科、経済学研究科、共生システム理工学研究科をおき、高度な教育研究活動を展開し、各研究科の専門性を活かした高度専門職業人・研究者を育成します。また、社会人にも広く門戸を開き、社会人特別入試、昼夜開講制、長期履修制度、土日集中開講などを導入し、社会人の学び直しにも対応します。東日本大震災以降、「福島」の使命として、災害復興、食農問題、再生可能エネルギーなどに対応したプログラムにより、地域だけでなくグローバルに起こりうる諸課題に先進的に取り組みます。

人間発達文化研究科

人間発達文化研究科は、地域の抱える課題を克服し、次世代を切り開いていくために、学類の教育理念をさらに発展させ、今日必要とされる高度な知識・技術をもって人材育成を図る「人材育成のエキスパート」を養成します。



教職実践専攻（教職大学院）

ミドル・リーダー養成コース／教育実践高度化コース／特別支援教育高度化コース

学校現場にあるさまざまな教育的課題に取り組みながら、学校改革、授業改革に結びつける実践研究を行います。その研究と学びを通して、理論と実践を往還させながら4つの資質・能力（『マネジメント経験を活かしながら省察する力』『高度な授業力』『アクティブな理論的探究力』『新たな教員への自覚と強い責任感』）を育成し、福島の未来を創造する独自の教育を創出できる高度な専門性を持つ（ミドルリーダー）の養成を目指します。

地域文化創造専攻

人間発達支援領域／日英言語文化領域／地域生活文化領域／数理科学領域／スポーツ健康科学領域／芸術文化領域

それぞれの領域の高度な専門性を背景として、地域の諸課題に関してその横断的・重層的の問題構造を把握しながら、人間と文化・社会とのリアルな関係を踏まえ、諸問題の解決に向けた学際的実践的研究を進めます。その研究と学びを通して専門的学問分野における研究・実践力を形成するとともに、地域支援に必要なコーディネート力および人材育成力を合わせ持つ（地域支援エキスパート）の養成を目指します。

学校臨床心理専攻

臨床心理領域／学校福祉臨床領域

臨床心理学に関わる高度な専門的知識と技能を習得しながら、学校、家庭、地域、専門諸機関などが相互に連携した臨床的支援方策について研究を進めます。その研究と学びを通して学校臨床、とりわけいじめや不登校、非行、あるいは発達障害などの特別なニーズを持つ子どもや青年、そしてその家族に対応する効果的な指導・援助・支援を行う公認心理師などの養成を目指します。

地域政策科学研究科

専門領域は5つの履修分野によって構成されています。分野横断的で学際的な研究環境を活かし、地域社会の諸問題に政策的に対応し、地域社会の発展に寄与できる高度な知識を持った人材を養成します。



地方行政

政治学・行政学の基礎理論および地方自治体の行政を具体的な制度や実態に即しながら法的・政治的側面から研究します。

【授業科目】 国家と行政、地域社会と行政、社会と政治、比較政治、国際社会と政治、地域社会と政治、地域社会と法、地方行政特殊研究

社会経済法

地域社会における社会的・経済的諸問題を法的側面から具体的に研究します。

【授業科目】 社会と法、労働・社会福祉と法、企業と法、経済と法、社会経済法特殊研究

行政基礎法

地域の行政の基礎となっている法制度を理論的かつ具体的に研究します。

【授業科目】 国家と法、市民と法、紛争処理科学と法、国際社会と法、行政基礎法特殊研究

社会計画

社会の基本構造の把握やそれに基づく地域社会の構造的課題の把握を踏まえ、地域社会の再建、活性化に不可欠な社会計画について、特にそれを政策化する視点から研究します。

【授業科目】 地域社会と社会計画、地域社会と環境、地域社会と社会福祉、地域社会と社会調査、社会と生活、社会と社会科学、社会の基礎理論、社会の構造と階層、社会計画特殊研究、地域社会総論、地域社会とコミュニケーション

地域文化

地域生活の基礎となる地域社会の諸側面を、地域文化として総括する方法について研究するとともに、社会情報について理論的かつ実証的に研究します。

【授業科目】 地域社会と歴史、地域社会とジェンダー、地域社会と教育、社会と情報、国際社会の言語と文化、地域文化特殊研究

経済学研究科

経済学研究科は経済学専攻と経営学専攻から構成されています。さめ細やかな指導と教育により、地域に密着しつつも世界的視野に立つ高度な職業人の養成を目的としています。



経済学専攻

本専攻では、経済学のさまざまな理論や手法をしっかりと身に付けながら、自分のテーマに沿った研究を行います。制度や政策を深く理解したり、物事を歴史的に考察したり、国際社会や地域、市場や産業の諸問題を掘り下げたりして理論的・実証的な分析に取り組み、論理的思考力を磨きます。

① 地域産業復興プログラム

ふくしま未来食・農教育領域と公共政策デザイン領域から構成されます。フィールドにおける実践を通じた研究教育（PBL: Project Based Learning）を重視しており、日本の地域産業復興、とりわけ震災・原発事故後の福島県における食と農のエキスパートを養成するためのプログラムです。火曜および木曜の夜間に専門科目と演習を開講しています（土曜の集中講義が一部あります）。

② グローバル政治経済学プログラム

グローバル（グローバル・ローカル）な視点で地域と世界をつなぐエキスパートを養成することを目的とします。経済学や歴史を学び、近年の世界情勢・研究動向に応じた知見をバージョンアップするとともに、国内外のフィールドワークによる問題発見型学習を行います。

経営学専攻

本専攻は、大きく経営学領域と会計学領域に二分されます。経営学と会計学について、さまざまな受講生のニーズにこたえるため、研究者による理論的な講義だけでなく、実務家による実践的な講義も提供しています。

③ 会計税務プログラム

本学の同窓生や地元の会計専門家の協力も得ながら、次世代の会計専門家を養成するためのプログラムです。経理マン、商業高校教諭、税理士など、会計専門家を目指す方にお勧めです。主に平日夜間に専門科目と演習を開講しています。

④ ビジネスキャリア・プログラム

ビジネスに関わる多様な科目群を、仕事と両立しやすい土日の昼間（10:30-17:00、休憩含む）に集中的に提供するプログラムです。主に社会人の受講を想定しており、キャリアの節目に備えるためのビジネスリテラシーの学習を体系的に支援します。また、8-9月はビジネスの第一線で活躍する実務家による科目群も用意しています。

共生システム理工学研究科

「共生」の観点からさらに専門性を深化させ、新しいシステム科学を構築、発展、継承できる人材と、これらの課題解決に実践的に貢献できる高度専門職業人・研究者を養成します。



共生システム理工学専攻

共生システム理工学専攻では、人一産業一環境における共生のための新たなシステム科学の構築を志し、課題解決に向けて積極的に挑戦しようとする強い意欲を持つ人材を養成します。

【博士前期課程】

数理・情報システム分野

数学、情報科学、経営システム工学、およびそれらを基礎とする数理・情報システム分野の研究

物理・メカトロニクス分野

物理学、機械工学、電気電子工学、制御工学、およびそれらを基礎とする物理・メカトロニクス分野の研究

物質・エネルギー科学分野

化学、材料工学、化学工学、エネルギー工学、およびそれらを基礎とする物質・エネルギー科学分野の研究

生命・環境分野

生物学、心理学、地学、気象学、水文学、およびそれらを基礎とする生命・環境分野の研究

【博士後期課程】

共生機械システム領域

人理解科学、メカトロニクス、情報技術を軸とした高度な機械システムに関する研究を行っています。

産業共生システム領域

資源材料・エネルギーなどの工学技術、数理情報、コンピュータ科学、産業政策、技術経営に関する高度な研究を行っています。

環境共生システム領域

環境のモニタリング、実践的な保全・浄化技術の開発ならびに改善した環境の管理・計画に関する高度な研究を行っています。

NEW

環境放射能学専攻 （2019年4月設置予定）

環境放射能学専攻では、人工および天然放射性核種の環境中の動態を解明し、計測、モニタリング計画、制御、予測、評価などに中長期的視点で総合的に取り組みます。積極的に挑戦しようとする強い意欲を持つ人材を養成します。

生態学分野

生態学、生物学、またはそれらを基礎とする放射生態学分野の研究を行っています。

モデリング分野

地球科学、現象数理学、またはそれらを基礎とする放射能モデリング分野の研究を行っています。

計測分野

化学、物理学、機械工学、電気工学、またはそれらを基礎とする放射能計測分野の研究を行っています。



ここから、世界に羽ばたこう。

国際交流

留学生活の中で得た国際感覚をもとに 海外に向けて日本文化を発信していきたい

高校生の頃から海外留学に興味があり、福島大学入学後は英語を使って国際交流するサークル「ESS」に入りました。さらに経済経営学類の特修プログラムである英語副専攻の授業も積極的に受講し、3年の時にはフィリピンでの語学研修に1カ月ほど参加しました。ただ、その語学研修は旅行気分から抜け出すことができなかったため、海外で生きるという本当の意味での留学を経験したいと考え、1年間の交換留学を決意しました。目的は英語能力の向上と国際交流。留学先はハンガリーの首都ブダペストのカーロリ・ガースパー・カルヴィン派大学です。

実際に留学が始まると、友だちをつくるのに苦労したり、自分の英語能力の低さに落

ち込んだりすることもありました。しかしその試行錯誤の中で、物事に対する広い視野や異文化の友人とのコミュニケーション力といった国際感覚を学び、“世界の一員としての自分”を感じられるようになりました。同時に発見したのが、日本という国のすばらしさと、海外の人にまだまだ知られていない文化や自然が、日本にはあふれていると感じたことです。私はこの感覚と経験を活かし、将来は海外に向けて日本文化を発信するような仕事に就きたいと考えています。

Profile

経済経営学類 国際地域経済専攻4年
瀬川 将也さん
宮城県多賀城高等学校出身
ハンガリー ブダペスト(1年間)

福島大学は学内留学や語学研修、
無料の語学セミナーなど、
国際関係に対するプログラムが整っています。
海外に興味がある人、大学で
何かがんばりたいと思っている人は、
福島大学から世界に
羽ばたいてみませんか。



友人の誕生日に、国を超えて50人ほどが集まってサプライズをしました。



大学対抗スポーツ大会。試合は全敗でした。

Fukushima Ambassadors Program

Fukushima Ambassadors Program (通称F.A.P.)とは、アメリカ、ドイツなどの海外の協定大学から福島に関心を持った留学生(これまで延べ168名)を約2週間のプログラムに招き、福島大学の学生とともに被災地をまわる短期留学プログラムです。平成30年4月現在、福島大学を中心に550名以上の県内の大学生がプログラム・アシスタントとして参加しています。さまざまな背景を持った学生たち同士が、ともに英語で福島の「過去」、「現在」、そして「未来」の課題について学び、理解を深めています。



福島にいながら学ぶ 学内留学

海外へ留学してみたいけれど、語学力や異文化での生活に不安がある。経済的な負担をかけずに生きた英語を学んでみたい。そんな学生の皆さんに対応できるよう、福島にいながら世界中の学生と国際交流をすることができる「Fukushima Ambassadors Program(F.A.P.)」を年に2回開催しています。これまで566名の学生と、168名の外国人学生が参加しています。

開催期間：10日間



海外で働く、という体験 海外インターンシップ

平成28年度から「実際の現場で英語を使うことにより実用的な英語を身につける」をテーマとした海外インターンシップ「WEA」を開講しています。海外で働くために必要なスキルや知識を学んだ後、夏休みに渡米し、現地でインターンシップを行います。

例：Real English Business Internshipプログラム
(テキサス・ヒューストンでの8週間のインターン)など

インターンシップ期間：約2ヶ月



短期間で学ぶ世界の文化と言葉 短期語学研修

短期語学研修とは、長期休暇中に海外の協定締結大学で語学を学んだりフィールドワークなどを行うものです。オーストラリア・クイーンズランド大学付属語学学校での5週間の英語研修や、コロラド州立大学でアメリカの放射線研究について学ぶ研修、韓国、中国、フィリピンでの語学研修など、さまざまなプログラムが用意されています。

留学期間：10日～3ヶ月



気軽に参加できる 語学力強化

英語圏への交換留学などをを目指す方には、IELTSやTOEFLなどの語学試験で目標スコアをクリアすることが前提として求められます。福島大学では少人数で参加できる語学力強化プログラムや、語学試験のコーチングを実施しています。中でも国際交流センターが提供する「ITT」は、語学試験対策のスペシャリストによるきめ細やかな受験指導に定評があります。

開催回数：毎週3回



協定締結校へ1年間の長期留学 交換留学

「交換留学」とは、学生交流協定校への長期留学で、福島大学のみに学費を納める必要がある留学を指します。福島大学では、現在、大学間交流協定に基づき、海外の33大学と学生交流協定を締結しています。国際交流センターが留学先との連絡調整をするため、留学前の準備はもちろん、留学中の相談や帰国後の単位の互換などの手続きを安心して行うことができます。

留学期間：半年～1年



！ 奨学金制度 について

福島大学には、留学にかかる経済的負担を軽減するため、給付型の奨学金制度が準備されています。平成29年度は、99名の学生が奨学金を受給して、留学に挑みました。

詳しくは、国際交流センターに
お問い合わせください！

Fukushima University International Center

国際交流センター 平日9:00-12:30 / 13:30-17:00

福島大学国際交流センターは、日本人学生や留学生の皆さんが留学や国際交流活動について相談したり、資料を閲覧したりできる施設です。本学と学術・学生交流協定を締結している大学の情報や、留学経験者の報告書なども閲覧することができます。留学や語学学習に関する図書の貸出のほか、希望者には語学試験対策学習指導も行っています。留学生から生活や学習についての相談を受けたり、在留資格、地域のイベントの案内と手続きも行っています。

